

令和5年度志摩市地域公共交通会議 第1回全体会議事概要

日 時 令和5年4月25日(火) 10時～

場 所 志摩市消防本部 会議室

【出席委員】

志摩市副市長	世古 勝
名古屋大学大学院環境学研究科 教授	加藤 博和
近鉄グループホールディングス株式会社 事業戦略部長	岸上 敦 (代理：津秦 充)
近畿日本鉄道株式会社鉄道本部名古屋統括部 運輸部長	赤井 智明 (代理：岩城 孝)
三重交通株式会社 志摩営業所長	川北 幸宏
一般社団法人三重県タクシー協会 伊勢志摩支部長	小崎 琢也 (代理：田畑 勝之)
志摩市自治会連合会 会長(磯部町自治会連合会 会長)	前田 周作
志摩市自治会連合会 副会長(大王町自治会連合会 会長)	松井 源紀
志摩町自治会連合会 会長	平賀 茂
志摩市商工会 会長	出口 勝美
一般社団法人志摩市観光協会 専務理事	岡田 英美
社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 会長	前田 正典
間崎自治会 会長	岩城 正幸
間崎婦人会 会長	山本 くに枝
三重県立水産高等学校 校長	向井 英規 (代理：大川 慶)
中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官	前葉 光司
中部運輸局三重運輸支局 鳥羽海事事務所長	竹内 宜也
三交伊勢志摩交通労働組合 書記長	西尾 祥貴
志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長	矢尾 弘
三重県鳥羽警察署 交通課長	谷端 辰成
三重県志摩建設事務所 道路課長	山下 智也
三重県地域連携部 交通政策課長	藤田 雄一 (代理：山本 聖)
三重県南部地域活性化局 次長兼南部地域振興企画課長	森吉 秀男
志摩市産業振興部長	山本 和輝
志摩市建設部長	西崎 真人

志摩市政策推進部長

箕浦 勤

【欠席委員】

志摩市自治会連合会	副会長（浜島町自治会連合会 会長）	森 安千代
阿児町自治会連合会	会長	溝口 幸夫

事務局	<p>本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、令和 5 年度志摩市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>志摩市地域公共交通会議の委員の皆さまにおかれましては、2 年間の任期となっております。今年度新たに委嘱をさせていただきます。委員の皆さま、また、事務局の体制の変更もございましたので、委員の皆さまから自己紹介をいただきたいと思ひます。</p> <p>【委員の自己紹介・事務局自己紹介】</p>
事務局	<p>本日は委員 28 名のうち 23 名の出席があり、半数以上の要件を持たしていますので、志摩市地域公共交通会議設置要綱第 4 条第 4 項の規定に基づき、本会議が成立することを報告させていただきます。また、本会議は同要綱第 4 条第 7 項の規定に基づき、公開で行い、議事要旨および資料についても公開いたしますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、議事に入ります。議長につきましては、同要綱第 4 条第 2 項の規定により、会長が議長となることになっておりますので、これからの議事進行につきましては会長であります世古副市長にお願いしたいと思います。</p> <p>よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>皆さま、改めまして、おはようございます。会長務めます副市長の世古でございます。本日は令和 5 年度志摩市地域公共交通会議第 1 回全体会議、ご多用の中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。本日の会議につきましては協議事項が一つ、報告事項が二つでございます。時間は 12 時までというようになっておりますけれども、忌憚のないご意見を頂きながら、スムーズに進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、着座にて進めさせていただきます。まず初めに地域公共交通についてということで、「活発で良い議論ができる会議のために」ということで、中部運輸局三重運輸支局さまよりご説明をいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
三重運輸支局	<p>日頃は国土交通行政にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。では、座って説明させていただきます。お手元に配布してあります表題が「活発で良い議論ができる会議のために」と記載されました冊子がありますが、こちらをご紹介させていただきます。この冊子は中部運輸局におきまし</p>

て、地域公共交通会議での議論がより良いものとなりますよう、学識経験者の方にも助言を頂きながら作成したものでございます。

めくっていただいて1ページ目、左上にバスの輸送人員の推移のグラフがあります。右肩下がりに輸送人員が減っております。このパンフは平成28年3月に作成されたものですが、この時点でも左上に大きく書いてありますように、大ピンチと大きく記載しています。この後、平成31年度末、R元年度末ごろからコロナ禍が始まりまして、ここからさらに急激に数字が減りました。現在は、数字はコロナ前に戻りつつあるものの、7~8割しか戻っており、コロナ禍で在宅勤務ですとかオンライン会議が浸透しまして、新たな生活スタイルができましたことから、もうコロナ前の数字に戻らないのではとも言われています。

地域公共交通会議は地域住民の方、交通事業者や行政などの関係者が集まりまして、その地域にふさわしい公共交通をつくり上げ、5年後、10年後も地域の公共交通を維持できるよう、さまざまな課題を話し合っ決めて決める場となります。会議での議論が活発により実のある議論となりますよう、会議の参加者ごとに役割を示した内容がめくってもらって3~4ページ目の見開き部分となっております。

住民代表の方は会議の場でいきなり発言するのは控えめになりがちですが、冊子の3ページ目にも記載がありますように、日頃から感じている利用する上での課題、困ったことを伝えるっていったような観点で、日頃、気付いたこと、分からないこと、地域公共交通を良くする取り組みなどを発言していただければと思います。また、自分たちの地域の交通をつくっていくためには、守っていくためにはどうすればよいのか。あと、どのようにすれば利用が増えるのか、そういったものも必要かと思えます。

また、めくってもらって6ページ目の下には注意する点も記載されています。地域公共交通には自治体が運行するコミュニティーバスの他に、民間の路線バスですとかタクシー、鉄道などがあります。それぞれに役割があります。市町の境界を越えて広く地域全体を見ていただいて、それぞれの公共交通が果たしている役割を踏まえながら、地域に合ったより良い公共交通実現をしていくための議論としていくことが重要となってきます。

また、地域全体のためにといい思いの下に、さまざまな関係の方が出席されておりまして、意見もさまざまなものになるかと思えますが、それぞれの立場を理解し、尊重していくことも大変大切になります。時間のある時にまた目を通していただければと思います。また、職場やご家庭に戻られましたら、自分たちの市はこういった会議があつて、そこで議論された結果がいろいろな交通に反映されていることを話題にいただければと思います。

	<p>私からは以上となります。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、事項書に沿って進めていきたいと思えます。まず初めに協議事項1、磯部地域予約運行型バス、ハッスル号の時刻表改定についてということで、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料1-1～資料1-4の説明】</p>
会長	<p>ありがとうございます。ただ今の事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしくをお願いいたします。</p>
A 委員	<p>磯部地区は78平方キロという広い地域になります。地域が点在をしておりますので、その点在した地域にこのように12のエリアでハッスル号を運行していただいております。今回この改定にいくまで、やはり人口減少、高齢化というのは非常に進んでおります。ですので、固定をされた方々が多く利用されます。それと、新たに運転免許を返納する方々もおりますので、その方々がまた使わしていただくということになるかと思うのですが、そういう中で、ハッスル号協議会で地域住民の方々からの意見を頂いて、今回この時刻表の方も現実に使う側の時間帯等をいろいろと意見を出していただきまして、市の方でご理解をいただいて、今回このような時刻の変更をしていただくことになっているのですが、それぞれにやはり会を開くごとに地域の声がいっぱい出てくる。4月11日にもいろいろな声が出ておりますが、今回この時刻表については皆さん、これでご理解をいただいておりますので、今回このように市の理解をいただいて上げさせていただいております。やはり利便性向上についてもいろいろな意見が出ておりますので、また市も4月11日に出た意見等も踏まえていろいろ検討していただくようお願いして、今回の協議事項1で挙がっておりますことについては、まずこのように進めていただいていることについてお礼を申し上げたいと思いますので、皆さんの方もよろしくお願いを申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他、ご意見いかがでしょうか。ご質問等でも結構です。</p>
B 委員	<p>ハッスル号ってということで、磯部の「うみルート」、また、「やまルート」ということで、地域の皆さんの足ということで、利用者数も増えておるという数値も見させていただきました。磯部バスセンターも若干ではありますが、</p>

<p>会長</p>	<p>そういったご利用もいただいていると思います。また、近鉄の志摩磯部駅とか、やはり地域の方がより活発に動きやすい、そういうことに関しましては賛成させていただきたいと思います。あと時間の変更とかは、磯部バスセンターの当社のバスと重なる部分については、ちょっと拝見できませんでしたので、問題ないかなと考えておりますので、これからも町、それから、志摩市と連携取りながら、地域の足として役割を担っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、協議事項1、磯部地域予約運行型バス、ハッスル号の時刻表改定につきましては、協議事項ですので、承認を取りたいと思います。ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。</p> <p>【全会一致承認】</p>
<p>会長</p>	<p>挙手全員になります。ご承認、ありがとうございます。それでは、本会議設置要綱第4条第5項の規定により地域公共交通会議の議決とさせていただきます。ありがとうございます。続きまして議事3、報告事項1、志摩市地域公共交通計画の策定についてということで、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料2-1～資料2-4の説明】</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。事務局から説明をいただきました計画の策定に当たりまして、公共交通による皆さん側と提供する側、両方から丁寧にヒアリングしていきたいということで説明をいただきました。ご意見等、よろしくお願いします。さらにこういったヒアリングした方がいいんじゃないかとか、ここは少しここまでしなくてもいいんじゃないかとか、忌憚のないご意見いただければと思います。</p>
<p>A 委員</p>	<p>すいません。昨年、車座方式で会合をされていろんな意見を聞いていただいたのですが、そのあたりの反映もされていくのだと思うのですが、そのあたりまとめていることについて、今回のこの考え方をどのように持っていくのか。それから、アンケートをするにしても、やはり画一的なアンケートばかりが出てくる可能性もありますので、引き続き車座方式の意見を聞いていただくというようなことも考えながら、この反映をしていくのかどうかっていうところをお聞かせ願いたいと思います。よろしくお願いします。</p>

会長	事務局、お願いします。
事務局	<p>昨年度開催させていただきました懇談会につきましては、この計画の方にしっかり反映をしていきたいというところは大きな趣旨でございます。その上で、先ほど申し上げました通り、このアンケートを画一的に行う方がいいのかどうかということも現状、ちょっとそこは判断をこれからしていきたいというところで、そちらを簡素化する中で地域に出向く回数を増やすとか、そういったことでできるだけ地域の声を聞けるような方向の方がいいんじゃないかという議論も並行で進めております。今のご意見いただいた内容については、アンケートやペーパーものだけではなくて、しっかり地域の声を聞くようにというようなお話だったかと思っておりますので、そういった方向につきましては、継続して事務局の方で検討をして進めていきたいと思っております。また、懇談会の意見につきましては、今後、各自治会さまにおいてもフィードバックをさせていただくということは計画をしておりますので、またその際にご意見をいただくとか、そういったことも想定はしております。以上となります。</p>
会長	ありがとうございます。他いかがでしょうか。
C 委員	<p>アンケート調査のことではないのですが、3 ページ目にスケジュールというのが置かれまして、スケジュールは次を想定しておりますってということで左の方にやるのが置いてあって、その右側に何年何月にこれをやってとかいうのをたぶん記載をされていくのかなって思うのですが、いつに何をやってというスケジュールを予めある程度決めていただいて、スケジュール感を持って作業を進めていただければよいのかなと思います。計画を作るのは結構大変かと思っておりますので、最初にスケジュール、グッと決めてもらっていただければと思います。以上です。</p>
D 委員	<p>先ほどもご意見があったのですが、私自身、他の自治体では住民懇談会主体に考えているので、市民アンケートは取らないと思うという状態ですが、ほとんど分かっていることを調べる場合というか、基本的には多くの方はもう車ばかり乗っていて、公共交通はあんまり頼りにしていません。そういう方々が大半のアンケートから公共交通でどういうふうに走らせればいいのかというのは案外出てこない。別に以前の結果と今の結果が大きく変わるとも思えないので、調査は実はお金が結構かかることなので、それよりはそういうことを考えておられる皆さんときちんと話をして、案ができてから議論し</p>

	<p>ないと、いい案にならないので、そういうふうにするというのが他でやっている一般論という感じです。志摩市でどう考えられるか、単にアンケートを取るだけだったら、時代遅れなやり方かなという認識です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。</p>
<p>E 委員</p>	<p>7 ページのバス等乗降調査のところで、OD を的確に使うために調査されるということですが、バスの事情は分かりませんが、私たちが担っている離島航路については毎日、時間帯別の OD 表を持っておりますので、ご活用いただければと思っております。ただ、OD 表だけでは出てこないものとして、利用者の特性や利用される方の属性、利用目的などは分かりませんので、それらが把握できるような形で何らかの調査をお願いできればと思っております。よろしく申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。事務局はいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。資料のご提供やデータのご提供をいただけるとのこと、感謝いたします。こちらの考えとしましても、バスや船に関するデータを可能な限り活用させていただき、不足している部分については利用者アンケートなどを通じて補完する作業を想定しておりますので、その際にはまたご協力いただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。3 ページにもございますように、スケジュール的には本日、4 月 25 日に第 1 回会議開催させていただいたのですけれども、下の方に志摩市地域交通会議開催予定ということで、次回は 6 月を予定しております。委員の皆さまから頂きましたより実態が分かるヒアリングを進めていくべきだと思いますので、アンケートの是非も含めて事務局で検討いただいて、6 月には一定、課題等が整理できるように進めていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。よろしいでしょうか、この項、締めさせていただきます。ありがとうございます。続きまして報告事項 2 ということで、デマンド交通の実証についてということで、令和 5 年度から進めています志摩市の取り組みを事務局の方から説明いたします。よろしく申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料 3 の説明】</p>

会長	<p>ありがとうございました。令和 5 年度に実証予定のデマンド交通について説明いただきました。委員の皆さま、ご意見、ご質問等あれば、よろしくお願いたします。</p>
C 委員	<p>説明の 2 ページ目にもありましたように、デマンドという新しいものを導入されていく、実証をするということで、どのエリアにどの時間帯ですとか目的だとか、どういった車両とか、要は具体的なところなのですが、新しいものやってくる場合、既存の交通とのすみ分けをしっかりと考えていただいてやっていただければとは思いますが。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。</p>
D 委員	<p>さっきの計画との関係が不明というのはちょっとまずあるのですが、それよりもっと気になることは、このスケジュール案でいうと、これからこの会議に出て、運行管理システムというのがまだ何なのかよく分かりませんが、予約配車システムのことかな。それを選定するという事になっていきますけど、今日のこの説明だと、デマンド交通というのは一つの商品のように捉えられているように思うのですよね。これ沼田の例が出ましたけど、これはまづデマンドっていうのは多様なんですよ。いろいろある、種類は。それぞれの地域に合ったものがあるんですね。それはさっき住民懇談会が大事って言ったんですけど、そこから出るんです。それなくして選定できるのかっていうのをまず疑問に思います。これは守秘義務的なものもあるんで、あんまり言っちゃいけないのかもしれませんが、今ちょっと別の自治体で仕事してるんですけど、ずっとそこの自治体でやっていただけるはずだったところが急にこのやり方はできないとおっしゃったんで、即、契約解除しました。新しいところを選定してるんです。何を意味してるかという、ある会社選ぶと、ある会社ができる範囲が狭いんです。いろいろ議論して分かっているはずなのに結局、理解力もなく、有名な会社ですよ。有名な会社ですけど、理解力もなく、結局、地域で必要なことについては、われわれはできないからやめると言って、それで契約解除したっていう経緯です。直前にそういうことがあったばかりなので、そうなる、こういうふうにならぬと、決まってるのに業者決めてやり始めるとどうなるかっていうと、この業者しかできないやり方でしかその地域はできないってなるだろうな。あるいはもうそれだと、全く駄目なので、もう一回、業者を選び直すとかになるんだろうなっていう。通常は僕みたいにすぐ機転が利くっていうか、逆に短気な人間はすぐ契約解除しちゃうんですけど、普通、行政はそういうことあんまりやら</p>

	<p>ないと思うんで、結局、合わないものをそのままやって、合わない結果だったっていう。要するにお金を無駄にしたっていうことになるので、そういうふうなそういう結果が出るというふうになる可能性がこれだけ見ると、極めて高いって思いました。ちなみに志摩市さんは現実にやってますよね、こういうことを以前に MaaS というもので。先にシステムがあって、後でそのニーズを調べていくというのは逆なんです。ニーズがあって、それに対してシステムがどういうのがいいのかとか、あるいはシステムの事業者さんにどういふふうにグレードアップっていうか、対応していただけるかが大事なんです。この選定だと、できないでしょう？ きっと。全然分かんなかったな。この大王、志摩でどういふやり方かっていうのがもっと明確に示されていたら、これでいいんですよ。だけど、大王、志摩でどういふやり方かっていうのはその検討がまだないでしょう？ ありますか。ない状態で沼田が全く大王、志摩で使えるかどうか分からないのが出てきて、もしかしてここの業者にやらせるかとか、そういうことだったとしたら全くとんちんかん。そういうことにならないように僕がいると思っているので、僕がいなきゃ好き勝手にやってもらえばいいんですけど、好き勝手にやって、さっき言ったような当たり前の今までいろんな自治体が出てきた失敗になるのは嫌なので、私がいる以上はそういうことはさせたくない。それで今こういう苦言っていうか、意見を申し上げたっていうことです。どちらにしても一番最初にシステム入れるっていうのはあってはならない。ただ、予算上、もうそうやられるんだしたら、やられるのはいいんですけど、成功確率は低いです、明らかに。そこを注意してやっていただきたい。あるいはもう既にかなり不安があるのであれば、それに合うような事業者を選ぶっていうプロセスでやっていただきたい。じゃあ、それを志摩市さんがそういう事業者選定をできる能力があるのかと、ここもよく考えてほしいです。値段だけとか見栄えだけとか、そういうのが一番駄目なんです、こういうのは。そうならないようにしていただきたいなと。そのあたりちょっと今、疑問に思いましたが、何かこうだから私の懸念は大丈夫だ、というふうに言っていたらいいんですけど、いかがですか。</p>
会長	事務局、お願いします。
事務局	ご意見、ありがとうございます。おっしゃる通り、システムありきということでは失敗するというようなところは理解いたしました。現在、われわれもこのシステム、計画上、スケジュールの中には入れさせていただいていますが、交通事業者の皆さまともどういった方法が可能か、どういった方法

	<p>がこの志摩、大王に適しているのかというようなところについては今、検討を進めているところではございます。そういったところが今回ご提示できなかったため、このようなご意見頂いたものと、反省をしております。このシステムありきではなく、ちょっとどういう方法が大王、志摩にあるのかというところも引き続きしっかり検討していきたいと思えます。ご意見、ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>もうちょっと現時点での去年聞いたお話とか、事務局に今の考え方を説明してもらった方がいいと思うんですけど、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。やはり昨年、懇談会参加させていただく中で、大王、志摩については特に路線バスが、御座線が走っているという中でバス停までが遠い、志摩町でいうと、北側の集落の方が特にちょっとバス停まで行くのに困っている、というようなご意見などを頂きました。一方、大王町につきましてもスーパーマーケットの近くに路線バスがなくて困っている、というようなところ、こういう乗り合いのものと、便利だというようなお声を頂きました。そういったもとに、市としましては大王、志摩、他の地域以上にこのデマンドの方法というのが合っている地域ではないのかなというようなところの判断の中で進めているところです。一方、先ほど検討すべきポイント、車両の部分とかがありましたが、大王町集落の中、道が狭かったり、そういったところでどういった車両、どういった運行方法が適切なのかということであったり、タクシー事業者さまが走っている中でそこの関係をどうするかとか、そういう具体的な議論について現在も話をしているという状況が現状でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>すいません。9 ページのスケジュールのところでも委員からご意見頂いているところもあると思いますので、事務局におきましては、この一番最初の3 カ月で運行管理システムがあって手続きというような、こういう書き方だけではなくて、先ほど去年からさまざま意見頂いている中で、車両の設定というのがあるとは思いますが、停留所をどこに置くのがいいのか、また、交通網の在り方どうした方がいいのかというの、地元の意見を並行して当然聞きながら、それに見合った運行管理システム入れてく、というような形で図の方もちょっと描き替えていただいて、そういう気持ちで志摩市はやっていきますので、またご意見頂ければと思います。</p>
<p>D 委員</p>	<p>もう一回、全く分かってないので説明すると、要するに予約配車システム</p>

というのは様々なんですね。僕は包丁とかに例えているのですが、出刃包丁とケーキのナイフっていうのは全く違うでしょ？こういうものだっていうことなんです。何を食べるかも決めないでナイフをどれに、包丁をどれにするのか決めるようなもんだって言っているんです。決められます？ケーキナイフを買っちゃったんで、ケーキを食べなきゃいけないっていうこと、ケーキなんか全然食べたいとも思わないのにケーキ食べなきゃいけないっていうことなんです。そのやり方だと思うんです、この順番は。さっきの自治体ですと、僕はいろんな所でやっているし、菰野町なんかはまさに一緒に作ってきたシステムなんですよ。それはかなり泣いてもらったから、結果としてああなったけど、まだ泣いてもらっても不十分なんですけど、何回も住民さんと一緒に話ししてどういうふうに予約したらいいかとか、どういうふうに配車したらいいかっていうのをいろいろ考えてやっているんですよ。だけど、業者が先に決まると、菰野のような所だったら聞いてくれたんですけど、さっきのようにそんなことできませんって、うちはこれしかできないんで、これをお願いしますって言う業者の方が圧倒的に多いんです。そんなところを選んだら大変なことになるよってことです。それを注意してほしいなっていうことなんです。今のご意見で全然そんなことに対して答えになってないでしょ？そんなスーパーにどうだとか、そんなことは分かっている。それはどういう需要で、住民の皆さんはどういうふうに使いたいとか、そういうことが分かっている上で、じゃあどういうシステムが、どういう会社のやってるシステムが向きそうかなっていうのが出てきて、そういうところと話しして決めてくっていう、そういうパターンになると思うんですよ。それが全くないので。最初から全てそれが分かかっていて手続きしてくっていう、そういうものになってるでしょ？ほとんどの自体がそれやって、それで失敗してるってことを見てきていて、私がテレビ出たりとか、講演したりとかで、そういうのにだまされるなよって言っているのに、なんでこういうのが出てくるのかなということなんです。

会長

ありがとうございます。当然、D委員のおっしゃられるような部分っていうのは一番最初にあるべきところだと思いますので、このスケジュール案についても、たぶん事務局もそのところは分かっているのだけれど、ちょっとこういう書き方になって、説明が不足しているということだと思いますので、その部分は訂正させていただいて進めさせていただきたいと思いますので、引き続きお願いします。事務局、それでよろしいですか。

事務局

はい。先ほどのご意見も踏まえまして、住民の皆さまの声も聞くということ

	<p>ころについては、バス停の設置とか、そういうところはしっかり入っていき たいと思っておりますので、改めてこちらの表現の仕方とか考え方について は整理を行いたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>他いかがでしょうか。もしよろしければ、地元の自治会の会長さんもみえ ますので、ご意見頂けると、ありがたいです。</p>
<p>F 委員</p>	<p>以前に MaaS の実証実験、携わらせていただいて非常にやっぱり苦勞したっ ていう経験がございます。なぜかという、まず年寄りがシステムを完全に 理解ができてないという部分と、予約方法が非常に難しい。そういうことで 結局、大王ではちょっと失敗をしたという経緯がございます。それと、今度 の新しいデマンドの方にしても、どこへどういうふうに車を走らせるかとい う部分と、住民がどういうふうに予約をするのかいうのを含めて、利便性が 高められるかというふうなことが非常に大事になってくると思います。これ にも載ってましたけれども、以前にバス停に電動自転車であるとか、いろん な乗り物でそこまで行った時に、そこへ置ける場所を造ったらどうですかっ ていう提案をさせていただいて、それは必要だねっていう話であったんです けれども、やっぱり非常に経費のかかることなので、結局、一つも実施されて いません。特に私、波切なんですけれども、狭い道路、それから、坂道が 非常に多いという部分でシニアカーとか、お年寄りが電動自転車とか、そう いうものを利用していますけれど、見ますと、バス停の近くの空き地に自転 車がポツと置いてある。これ毎日置いてあるので何か思って思ったら、そ こまで自転車に来て、バスに乗って病院とか、そういう所に行って帰り、ま たそこで自転車に乗って自分のおうちに帰る、みたいのが結構見受けられ るので、その辺のところも MaaS で失敗したことも踏まえて、それをいい方向に 持って行って新しいシステムにつなげていってもらいたいというのと。大王 と志摩町っていうふうにひとくくりにして考えてらっしゃいますけれども、 志摩町は細長い地区で非常にやはり難しい部分、大王地区は狭い道ばかり で、坂道と、そういうふうな所ではいかにお年寄りなり、免許返納した人た ちが利用しやすいっていうか、利用していいなと思えるようなシステムにし ていただくといいのかなと。実証実験ということですので、いろいろまた実 際に意見を言わしていただくこともあろうかと思っておりますけれども、その 辺の失敗も含めて検証をもう少ししっかりしていただいて、次につなげてい ただければいいんじゃないかなっていうふうに考えていますので、よろしく お願いいたします。</p>

会長	<p>ありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。</p>
G 委員	<p>志摩市におけるデマンド交通の概要（案）、非常に素晴らしい案です。これをぜひ進めていけるように努力していただきたいと思っております。志摩町は先ほど F 委員がおっしゃられたように長い地域でありまして、ニーズがたくさんあると思います。特に病院。病院関係行くのに路線バスでは時間帯が非常に悪くて、なかなかバスで行けない。家族の者に送っていただけるといような、そういうような傾向があります。このデマンドバスを利用して病院に行ける。そういうようなルートが、大型スーパーなんかは松阪、明和かな。鳥羽かな。業者が出してます。あえて三重交通が出すといようなことじゃなくて、そういうエリアに行かれるのはやっぱり業者に協力していただいて、業者がバスを出していただくと。三重交通のバスをそれぞれ大型スーパーまで行ってしまうと、地域の店舗がかなり衰退していくんじゃないかと思うので、やはり高齢者が路線バスを利用できない、足腰が悪くて行けない。非常にデマンドバスは利便性がある。利用度が高いと思います。それを利用して病院なんかに行けたら、家族にも負担が少なくなるんじゃないかということで、そういう声は私たちもよく耳に入ってきます。こういうのがあったらいいのにねという感じで、そういう恐らく路線バスも併用していくと思いますけど、デマンドバスもそういうような運行を併用していくと、路線バスの赤字が非常に増えるんじゃないか。赤字経営に関してはわれわれ個人的に心配しなくてもいい話なんですけど、路線バスをデマンドバスが利用されるようになると、路線バスを利用するお客さんが非常に少なくなるんじゃないかなと思います。これはほんと便利なデマンドバス、志摩市の 1 番から 7 番までであるこのことに関しては非常に私も賛成します。非常にいい案だと思いますので、進めていったらいいかなって思っております。ありがとうございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
A 委員	<p>先ほどからいろいろ意見が出ておりますが、いずれにしても、スケジュール案があるわけですが、先ほど会長からも 6 月ぐらいまでいろんなまとめもさせていただくっていうお話がありましたが、今まで車座でやった市民からの意見もまだ全て全部が出てないような気がするんですね。われわれが聞かしてもうとる範囲の中では言葉で出ておるものが一部分しかないと思うので、そのあたりもやっぱり全部出していただくといような、各地域ごとになると思いますけども、そういうことをもらいながら、意見交換をさらに</p>

	<p>進めていくっていうことが大事やと思うんです。そうすると、先ほどこのスケジュール、運行管理システム選定とか、そういうところも同時並行していくのが可能なかどうか、ということになるのかなと思うのですが、ちょっとそのあたり事務局、どのようにお考えなのかということをお聞きしたいのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。こちらのデマンドの方を進めていく一方で、前段の計画の方、こちらでも地域のサロンに出向くとか、そういったところも考えております。利用者のヒアリングも行うというようなところもありますので、そういったところもちょっと並行に進めながら反映はしていきたいというふうには考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様の意見を聞いていますと、事務局の方にちょっと調整いただきたいのですけれども、やはり今日4月25日ですけれども、まずは地元の皆さんの意見を改めて掘り起こして聞いて、その上でどういった形で進めるのがいいのかという方針を固めて、またD委員の専門的な見地からの助言も頂きながら固めた上で、運行管理システムの選定を進めていただきたいと思います。そうしないと、難しいということをおっしゃって見えますので、恐らく今までのご経験からそういうことだと思しますので、その部分は訂正というか、修正をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>承知いたしました。</p>
<p>D委員</p>	<p>結局、単純に言うと、オンデマンドのそういう予約配車のシステム、AIとか入れたりするんですけど、そういうところは、自分たちはいろいろできると言うんですよ。言うんですけど、実際、契約すると、これしかできないって言うというのが一般的なんです。みんなバラ色のこと言うんですよ。そりゃそうです。デマンドだったら定時運転路線より便利だよ。乗り合えば安くできるよねと。だけど、実際はあまり乗り合わないし、運転手足りないんで、たくさんの方が予約したら全然運べないんで、好きな時に好きな所に行けるって思ったら、実は予約が入らないんで行けないとか、そういうふうになるんです。そういうことにならないように、僕は考える仕事をしています。だけど、業者はそんなことは何も考えていなくて、取ったらもううちのシステムがこうなんで、これでやってくださいって言って、それが地域と合う、</p>

	<p>合わないはもうお金払っちゃってるし、関係ないけど、やらなきゃいけないってなるから、そうなる前にこういうことが地域に必要なだから、こういう業者じゃなきゃいけないというある程度そこまで絞っていかないと、とんでもないことになるよと。だから、今日バラ色だ、みたいに思っていた人が2年とか3年後になって、こんなはずじゃなかった、となるのが嫌なので、それでこういう苦言を言っているということなんです。そこだけ注意してもらえば、あとはいいです。心中されるならいいですけど、その会社と。心中したら、そっちは、会社は勝手にやってもらえばいいですが、志摩市はちゃんと持続可能にならなきゃ、SDGsにならなきゃいけないから、まさにSDGsってゴールが決まっていて、そのためにどういう手段を採っていかでしょ？ 先に手段決めてどうするのかと、そういうことなんですよ。ぜひそういうふうにご検討いただきたいなということです。だから、現実的どうやるかっていうのはちょっとよく考えなきゃいけないところなんですけれど、間違っても先にやり方を決めない。そこだけは注意していただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。おっしゃる通りだと思いますので、手法はもう二の次だと思いますので、目的を持ってしっかりと進めていきたいと思っております。事務局もお願いします。他、委員の皆さま、ご質問等、ご意見あればよろしくお願ひします。</p>
<p>B 委員</p>	<p>先ほど来から地域の皆さんのデマンドに対するいろんな意見とか考えもあったように思います。それから、地域の懇談会も私も出席もさせていただきました。やはりバス停まで遠いとか、不便だっというご意見も頂いておる次第です。三重交通としましても、やはり既存路線をいかに残していくかというところが非常に大事になってきます。それをしないと、ほんとに陸の孤島みたいな所になっていきますので、既存の路線、これを残しつつ、バス停まで遠い方、また、不便な方が路線バスにうまく乗り継げる、そのようなことを志摩市さんともいろいろ情報交換、意見交換しながら進めていきたいと思っておりますので、また地域住民の自治会長さま、いろいろご意見等頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。志摩市といたしましても令和5年度、しっかり予算を取ってきた事業でございますので、より良きものにしていきたいと思っております。引き続き皆さんとともに進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。報告事項については以上となります。続きまして議事4、その他についてということ</p>

事務局	<p>で、事務局から何かありましたら、お願いいたします。</p> <p>事務局からその他事項といたしまして、次回会議の開催のご予定についてお知らせをさせていただきます。次回会議の予定につきましては、計画策定に係る現状整備と調査結果の共有および課題等に協議を行わせていただくため、6月20日の14時からの開催を予定しております。改めて委員の皆さまには開催通知にてお知らせをさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。全体通しまして委員の皆さま、よろしかったでしょうか。ありがとうございます。それでは、以上をもちまして志摩市地域公共交通会議第1回全体会議を終了させていただきます。傍聴に市議会議員の先生方もたくさん来ていただきまして、ありがとうございます。では、これで閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p>